

令和6年サポセン登録団体活動状況調査報告

◆ アンケート依頼団体数と回答数について

222団体へアンケートを依頼しました。そして82団体から回答ありました。回答率は37%でした。活動を継続中は81団体、解散が1団体でした。

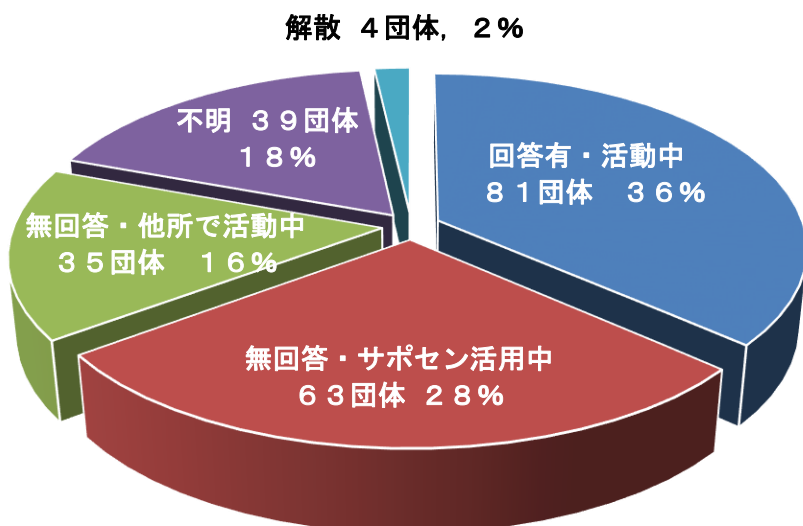
◆ 2年継続して回答のあった団体数

昨年度は222団体に対し108団体から回答いただきました。今年は82団体の回答がありました。去年と今年と連続して回答いただいたのは63団体ありました。

◆ 市民活動を継続している団体数

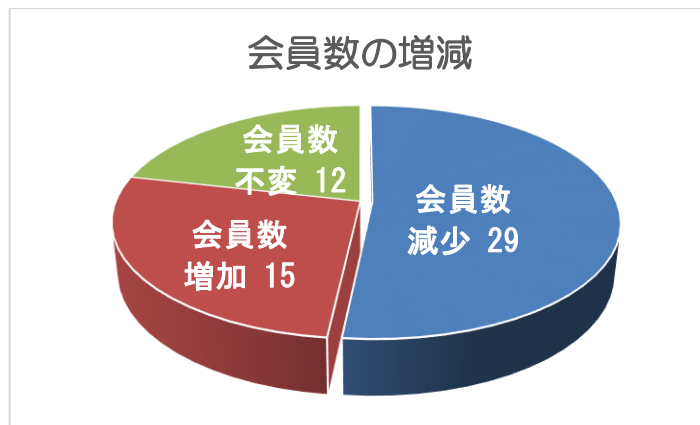
今回アンケートへの回答が無かったが活動を継続している団体は、①過去1年間にサポセンを利用した団体数は63団体 ②サポセン以外の場所で活動中の団体が35団体あります。以上まとめますと活動していると確認できた団体数は、179団体でした。すなわち総数222団体の内、少なくとも81%が市民活動をしています。18%に相当の39団体から連絡がありません。以上を円グラフで表しますと以下のようにになりました。

市民活動団体アンケート調査結果

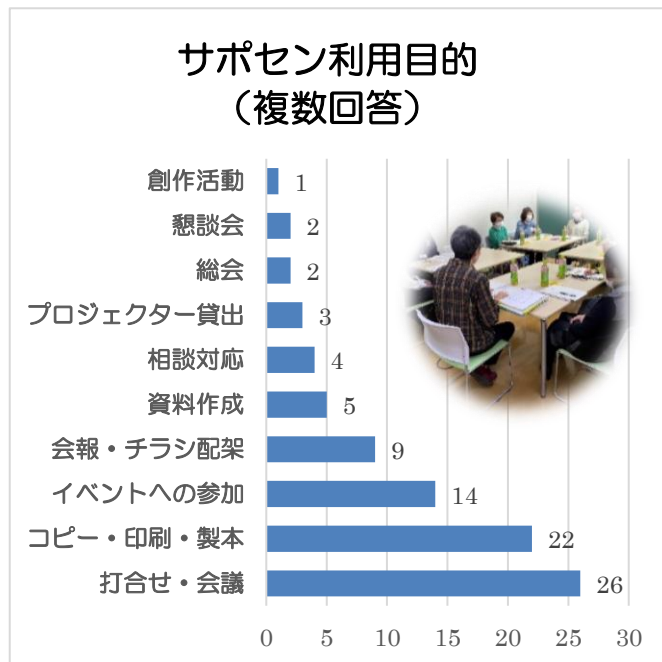


◆ 2年間連続して会員数の回答があった団体56団体の会員数の動向について

昨年度比で今年会員数が減少した団体は29団体で、会員が増加した団体は15団体でした。また増減なしが12団体でした。約52%の団体で会員数が減少しています。



◆ サポセン利用目的についての回答



サポセン通信 第55号 もくじ

1～3面 令和5年度登録団体アンケート
4面 登録団体の紹介/ポスター展

「サポセンの他施設への機能移転に関すること」や「サポセンに期待すること」への回答

◇機能移転に関すること

- ・市民団体を支援する役割を引き続き希望
- ・サポセンの現在のサービスを質・量・コストとも維持継続してほしい。
- ・機能の細分化とそれぞれの移転可能な方策をまとめ、提言したいと考えている
- ・伊勢原では商用のスペース貸出サービスも存在していないので、公共施設のサービスレベルに見合う対価として、妥当な使用料であれば有料でも構わない
- ・市の統廃合の結果、移転後使用料が徴収されても良いが、サポセンの機能は継続して残してほしい
- ・ボランティア団体への現状のようなサポートしてくれる施設の場所が変わることについては、市の事情があるならやむを得ないですが、現状程度のスペースや設備・備品があれば、移転先はこだわりらない
- ・現時点は特にありませんが、高齢者の運動に適したエアコン付きの体育施設（行政センター体育館位の規模）の確保を希望
- ・今まで通りの内容で移転後もお願いしたい
- ・機能移転の具体化がどのようになるのかわからないが、現在の展示スペースは少ないように感じる
- ・我々の会は、練習の場所と言っても声を出すので、部屋の防音性能を上げていただくなどの改良が必要と思うが、センターの目的と相容れないような気もする
- ・現在のサポセンは、印刷機、紙の折り機、裁断機など、資料作成するための備品が揃っており、フリースペース、多目的室とも打合せに使えるし、資料作成する時にもコーナーが大・小いろいろあることで、使いやすいレイアウトだと思う
- ・今まで同様会議打合せで利用し易いサポセンを希望
- ・そこにサポセンがある大切さを維持して欲しい
- ・急遽打合せが必要な時、突然の予約依頼に対応してもらえるのがうれしい。
- ・障がい者が利用しやすい設備やサポートを希望



- ・会議場の確保が近年困難、また会報編集・印刷もインク代高騰でコストUP サポセン利用を検討したい
- ・プライベートが保てる多目的室が利用できるのはありがたい。
- ・現所在地は利用しやすく、移転しても遠距離になれば、活用できない
- ・ドア付きの部屋もあると嬉しい
- ・サポセンが利用できる前は、場所探しが大変でした
- ・電話で予約を申込みるので助かる
- ・高齢者にとりサポセンでの活動は、脳の活性化になっている
- ・移転について、色々検討する機会が不十分と思う
- ・移転について、登録団体への周知が不足している
- ・機能移転は構わないが、適切な施設があるのか説明が欲しい
- ・使用可能な範囲を広げて、もっと多数の団体／サークルが利用すべきと思う
- ・サポセンの機能や役割のPRが不足しているように思われる
- ・安定して継続的に利用者のサポート環境を支援提供していただくことを希望
- ・移転せざるを得ないなら、今のよう駐車場があって、～50人くらいで使えるようにしてほしい。
- ・サポセンのような場所は市民活動の場として、必要だし大切にしたいと思う
- ・まちづくりや市民のための市民に向けての活発な話し合いが、月1回くらいはあるといいなと、切に思う
- ・常に風通し良く、いろいろ話し合っていれば、必要な時もすぐに動けるし、行政の力にもなると思う
- ・主催者側が考える目的・期待と効果を知りたい
- ・打合せ場所に仕切りだけで解放感があるが声が漏れて他の利用者に迷惑になるので使用を控えている
- ・人生100年時代にあって、生涯学習や社会教育の重要性はますます高まっている。さらに、子どもたち



の居場所やシニア世代の活躍の場づくりも求められている。これらのことを実現するためにも、多世代が集う機会であり、地域づくりにもつながる市民協働活動や地域学校協働活動が活発に行われなければならないと思う

・このような活動を行うためには、各地域や自治会に公民館、コミュニティセンター、自治会館、学校などの施設があることは大切だと思う

・伊勢原市として、このような活動の拠点となる施設を持つことは、行政の責任として必須だと思う

・今後は、サポセン、公民館、コミュニティセンターなどの行政施設を、行政の縦割りでバラバラに利活用・運営するのではなく、その役割や目的を再定義し、市民に分かりやすく使いやすい施設としてほしい

・各活動団体への情報提供や団体間の情報交換の場を社会福祉協議会でも持っている。こういうところとの連携や協働も必要ではないか？

・今までの利用者をサポートする担当部署を置くこと

◇サポセンに期待すること

・SNS (Instagram や X) を利用したイベントの宣伝と、チラシを置いてもらえる場所等のアドバイスが欲しい

・いつもコピー機を使っている。会員（作家）たちがサポセンでコピーすることが有ると思う。作家の展示会のチラシなどを置かせて頂けるとありがたい

・使用料が無料で有難い

・公民館が休日でもサポセンが利用出来て感謝

・色々なボランティア団体が登録しているので、Web や「サポセンフェスタ」などで、いろんな情報が得られること

が助かり自分達の活動の参考にもなる

・市民活動を応援して

ください。施設の方もとても親切で有難い。ずっと続いてほしい

・年1度のフェスタの他に、継続的に様々な活動の紹介出来るスペースが出来ると良いなと思う

・会員募集中なので興味ある人に紹介してほしい

・いろいろな勉強会を開いてほしい

・印刷機能など、事務書類作成機能は便利に使わせて頂いている。一般家庭ではできない機能（折込機能）など、引き継いでほしい

・事務スタッフの方々が直ぐそばでいてくれて、いろいろ対応してもらい、わからないことがあれば、親切にサポートしてくれることも助かる

・PC で困っている時に使用方法を教えてもらえる

・スマートフォンの活用法も教えて欲しい

・活動をサポートいただけるポスター展示など面白い企画だと思った

・様々な団体が参加することによって、市民の方々の心の健康にもつながるとおもうので、積極的なアピールはとってもうれしい。当会ではワークショップの提供を積極的に行っている。御依頼があれば受けます

・各団体による講演会を開催して、どのような活動をしているのか知りたい

・市民活動を知ってもらい、市民活動を活性化させる

サポセンフェスタは継続してほしい

・「今年度予算で」と説明されたプロジェクターはいつごろ購入予定ですか？

・ポスター展は、地域別に掲示団体も絞って、各公民館で実施することが望ましい

・「市民活動団体協議会」への参加招集を希望

・「公設民営」を具体化して人件費のスリム化・効率化を図るべきと思う

・「https 化」できないHP も外部委託されてはいいかか。（当団体で対応可）



令和6年度のアンケートへのご協力とご意見ありがとうございました。222団体へのアンケートに対し回答82団体。回答率は36%と物足りないものでした。また「サポセンの他施設への機能移転に関すること」や「サポセンに期待すること」への質問に関して、41%が無回答あるいは「特になし」でした。テーマが大きかったことや、また市民活動の多忙な時期と重なったのかもしれませんが、しかし回答いただいた「サポセンへの期待」に対するご意見は、真にサポセンを自分事としてとらえたものが多く、「伊勢原市の市民活動の起点としてのサポセンの役割」への期待が大変大きいことをあらためて感じました。今後とも宜しくお願いします。

利用登録団体のご紹介 ③①

クローバー己書道場

【学術・文化・芸術・スポーツ】分野 設立 令和4年
◆代表者：原田 朋美 ◆TEL：090-5339-8511

書道とは全く別物、筆ペン1本で自分の書いている文字を否定することなくその文字を生かしとても味のある文字に仕立てます。地域の方々とおしゃべりしながら、絶えず笑いが飛び出しています。環境・年齢も違う仲間が集うので、お互いに良い刺激を受け、特に年配の方は、作品制作はもとより一人で家にこもるのではなく己書道場参加そのものを楽しんでいらっしゃいます。パソコン使用で文字を書く機会が減ってきた今、あらためて手書きの良さを実感できます。また、自分なんか〜と否定から入っていた方でも、「わ〜素敵な作品〜」と皆さん褒めあっているのので自己肯定感アップに心の栄養にもなります。ご依頼あれば、個人・学校・施設などでも挑戦のお手伝いします。



食育の学校 うんち学園

【子どもの健全育成】分野 設立 平成28年
◆代表者：磯崎 陽子 ◆TEL：080-3007-5662

食の学校「うんち学園」は『栄養や体のことをもっと知ってもらいたい』というお母さん達の想いから開校。元気に生きるために〈食べ物を選ぶ力・考える力〉を身につけるためのお手伝いをする学校です。毎年、夏休みに学園祭(オンライン食育)を開催。参加者は幼児からシニア世代と幅広く100名以上の方が参加しています。〈体・栄養・うんちのこと〉をわかりやすくまとめたオリジナルテキストや教材を使って、食育インストラクターと一緒に楽しくお勉強できます。今年も夏休みに開催します。詳細は公式LINE・Instagramから(QRコード添付)体は食べたものでできています。うんちは「心と体」からのお便り。良いうんちを出して心も体もHAPPYに?



伊勢原女性農業者連絡協議会

【社会教育】分野 設立 平成3年 4月
◆代表者：加藤 京子 ◆TEL：0463-93-2572

平成18年(2006年)伊勢原女性農業者連絡協議会(旧湘南地域女性農業者連絡協議会伊勢原ブロック)として活動をはじめました。私達が生産している農畜産物や身近な食材を使った料理講習会、農業まつり等イベントでの出展、また、視察研修や交流会では、他市との情報交換や、会員のスキルと知識を向上させ、自分たちのレベルアップに努めてまいりました。農業から生まれた食文化、生活文化を、未来を担う子ども達に伝えたい、命を繋ぎ育む農業の大切さを発信していきたいと思ひます。この度、先人からの引き継いだ知識や地域の特産物に工夫をこらした冊子を発刊することができました。御協力頂きました皆様に感謝申し上げますと共に「伝えたい伊勢原の食と行事」が豊かな食生活のお役に立てればと思ひます。



「いせはら市民活動団体ポスター展」 中央公民館と市役所玄関ロビーで実施しました

◆ 5月3日～5月31日まで中央公民館で実施



◆ 6月3日～6月14日まで市役所ロビーで実施

